

電波時計

(デジタルアラームクロック)

取扱説明書

取扱説明書番号 D012-CXXY

～ 特 長 ～

- 電波を受信して時刻を自動修正
- 1ヵ月分のカレンダー表示
- 温度と湿度を表示
- 電子音アラーム付

お買い上げいただきありがとうございます。
お使いになる前にこの取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
お読みになった後もお手元に保管して、必要に応じてご覧ください。

安全にお使いいただくために(はじめにお読みください)

ここに示した注意事項は、あなたや他の人への危害や損害を未然に防ぐためのものです。必ず守ってください。

■表示の説明について

表示内容を無視して、誤った使い方をした時に生じる危害や損害の程度を、下記の表示で区分して説明しています。

	この表示は、「死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容です。
	この表示は、「傷害を負う可能性または物的傷害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

■誤飲による事故防止について

小さな部品や小形の電池は、幼児の手の届く所に置かないでください。万一、飲み込んだ場合は、すぐに医師の治療を受けてください。

■アルカリ電池について

●電池からもれた液が目に入った場合は、失明するおそれがありますのですぐにきれいな水で洗い、医師の治療を受けてください。また、皮膚や衣服に付着した場合は、水で洗い流してください。
●ショート、分解、加熱、火に入れるなどしないでください。液もれ、発熱、破裂の原因になります。

■電池について

電池の使い方を間違えると、発熱、破裂の危険や液もれにより人体や時計周りを傷めることがあります。

- + (プラス)、- (マイナス) を逆に入れないでください。
- 新しい電池と古い電池、種類の異なる電池の混用をしないでください。
- 電池はすべて指定の新しい電池をご使用ください。
- 使い切った電池は速やかに取り出してください。
- 長期間使用しない場合は、電池を取り出してください。
- 電池交換時は、電池と時計の端子(接触部)の汚れを落としてから入れてください。

■液晶について

表示部が破損して液晶が手などについた場合は、石鹸で洗い流してください。目や口に入った場合は、きれいな水でよく洗い流し、直ちに、医師の治療を受けてください。

お問い合わせについて

アフターサービスなどについてご不明なことがありましたらお客様相談室にお問い合わせください。お買い上げの製品に関するお問い合わせに際しては、製品番号「8RZ061」をお伝えください。

お問い合わせ先

お客様相談室 0120-557-005

(フリーダイヤル)
受付時間 9:00～17:00
(土日、祝日および当社休日除く)

発売元 **リズム時計工業株式会社**
〒330-9551 埼玉県さいたま市大宮区北袋町1丁目299番12
http://www.rhythm.co.jp (Y0710)

CITIZENはシチズンホールディングス株式会社の登録商標です。

アフターサービスについて

この時計のアフターサービスはお買い上げ販売店がいたします。次の記載事項と保証書をよくお読みの上、ご利用ください。

●修理部品の保有について

この時計の修理用性能部品(電子回路等)は製造打ち切り後、3年間を基準に保有しています。外装部品(ケース等)の修理には、類似の代替品を使用することがあります。または商品を現品交換させていただくことがあります。

●修理可能期間について

無料保証期間が過ぎても、この時計の性能部品保有期間中は、原則として有料修理が可能です。ただし、修理には販売店と修理工場の往復運賃・諸掛り費用も加わり、商品により修理代金が高額になる場合がありますので、販売店とよくご相談ください。

●転居または贈答品の場合

転居または遠隔地からの贈答品で、お買い上げ販売店でのアフターサービスが受けられない場合は、お客様相談室にご相談ください。(保証期間中の場合は、販売店の保証書が必要です。)

電波時計について**電波時計とは**

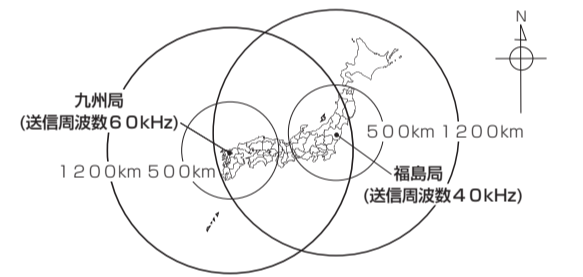
電波時計は、正確な時刻およびカレンダー情報をのせた標準電波を受信することにより、自動的に表示時刻を修正し正確な時刻をお知らせする時計です。

標準電波とは

標準電波(JJY)は、日本標準時(JST)をお知らせするために、情報通信研究機構が運用している電波です。標準電波の時刻情報は、およそ10万年に1秒の誤差という「セシウム原子時計」によるものです。標準電波送信所は、福島県の「福島局:おたかどや山標準電波送信所」と佐賀県と福岡県の県境にある「九州局:はがね山標準電波送信所」の2カ所あります。標準電波の詳細については、「情報通信研究機構」のホームページをご覧ください。(http://jjy.nict.go.jp)

電波の受信範囲について

送信所から約1200km離れた場所でも受信可能です。ただし、受信範囲であっても電波障害(太陽活動、季節、天候、置き場所、時間帯(昼/夜)あるいは地形や建物の影響など)により、受信できないことがあります。



この時計は福島局と九州局に対応しており、標準電波を自動選択して受信します。

※受信範囲内であっても、置き場所、時計の向き、地形や建物の影響などの環境条件によって受信できない場合があります。

※電波障害により誤った時刻を表示することがあります。

電波を受信しにくい環境

次のような場所では受信できない場合や誤受信することがあります。

**海外でのご使用について**

この時計は、日本以外の標準電波は受信できません。海外で使用した場合、まれに日本の標準電波を受信し、日本の標準時を表示したり、ノイズにより誤った時刻を表示することがあります。海外でご使用になる際には、電波受信機能をOFFにして手動で時刻合わせをしてお使いください。

☞「7. 電波受信のON/OFF設定」参照

☞「❖ 電波を受信できない場合」参照

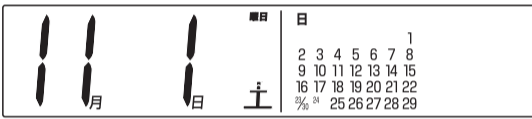
標準電波の送信停止について

送信所の定期点検や落雷などの影響により、標準電波の送信が停止することがあります。標準電波の送信状態については「情報通信研究機構」のホームページをご覧ください。

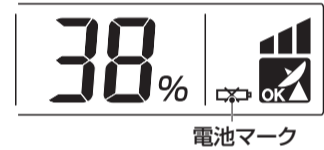
5. カレンダー表示

1ヵ月のカレンダー表示は、月ごとに表示位置が変わります。

〈表示例〉

**6. 電池交換時期のお知らせ**

電池の交換時期になると、 マークが表示されます。このマークが表示されたら、お早めに電池を交換してください。



電池マーク

電池からの液もれに注意

時計が止まった状態で、電池を入れたままにすると、電池からの液もれにより、時計や家具などに損傷を与えます。表示が薄くなったり、時計が止まったら電池を取り出すか、電池を新しいものに交換してください。

7. 電波受信のON/OFF設定

標準電波受信機能をON/OFFを設定することができます。工場出荷時の設定は、標準電波受信機能はONです。

OFFにするには (受信しない)

リセットボタンを約1秒間隔で3回押します。

▶手動で時刻を合わせてください。



ONにするには (受信する)

戻るボタンを押しながら、リセットボタンを押してすぐに離し、その後戻るボタンを離すと受信を開始します。

※押しタイミングにより、切り替わらないことがあります。このようなときは、操作を繰り返してください。

※電波受信のON/OFF操作をしたときは、アラーム時刻を再度設定してください。

8. 強制受信とリセット操作

●強制受信は、場所を移動したときなど電波の受信を試みたいときに使います。
※手動で時刻合わせをしているときやアラーム時刻を合わせているときは強制受信操作はできません。

●リセットボタンは、電池を入れた直後や静電気などにより誤作動したときに押しします。リセット直後は、2007年1月1日午前12:00、アラーム時刻は午前6:00に初期化されます。

9. 静電気による誤作動

静電気の影響により誤作動し、表示などがおかしくなることがあります。このようなときはリセットボタンを押してください。

おもな製品仕様

時間精度	●標準電波の受信に成功している場合(受信直後) 表示精度 ±1秒以内 ●標準電波を受信しない場合 平均月差 ±30秒(常温中のクォーツ精度)
使用温度範囲	-10～+50℃ (液晶表示可読温度範囲0～+40℃)
使用電池	単3形マンガン乾電池(JIS規格R6P) 2個
電池寿命	約1年間(アラーム、照明の使用状態により変動します)
その他	標準電波 標準電波受信による時刻修正 福島局/九州局自動選択 自動電波受信回数 1日8回 標準電波受信 ON/OFF切替 カレンダー 2007～2099年 西暦、月日、曜日 時刻表示 12時間/24時間制切り替え表示 時刻/日付 表示入れ替え アラーム機能 アラーム精度 表示時刻に対して±0秒 アラーム音 電子音(鳴り方が変化) 温度 -9.9～+50℃±2℃ 湿度 20～95%±10% (湿度が5～50℃のとき)

○付属の電池は工場出荷時に入れていますので、電池寿命が製品仕様より短い場合があります。
○液晶表示板は5年を過ぎると、コントラストが低下して表示が見にくくなる場合があります。
○0～40℃の温度範囲を超えると、液晶表示が見えにくくなる場合があります。
○製品仕様は改良のため予告なく変更することがあります。
○時計を廃棄するときには、お住まいの地区の基準に従ってください。

お手入れについて

- 汚れがひどい時は、水でうすめた中性洗剤や石けん水を、やわらかい布に少量つけてふき取り、その後、からぶきしてください。
- ケースなどのよごれ落としに、ベンジン、シンナー、アルコール、スプレー式クリーナー類は、使用しないでください。

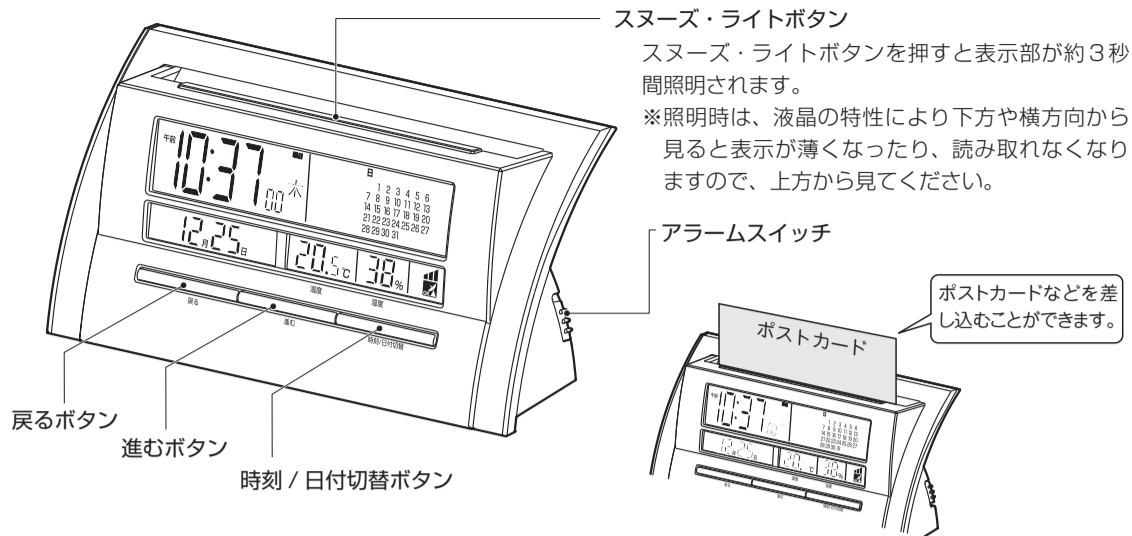
ご注意

松下電池工業株式会社製「オキシライド乾電池」について使用した場合、液晶表示が正常に見えなかったり、電池寿命が短くなるなどの障害が発生することがありますので、使用しないでください。

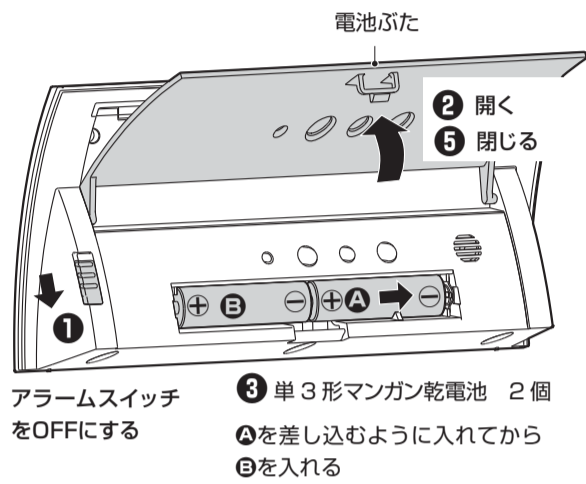
この取扱説明書を許可なく複製、変更することを禁じます。この製品によって生じたいかなる支出、損益、その他の損失に対してなんら責任を負いません。

1. 時刻の合わせ方 (はじめてお使いになるとき)

図は操作説明用ですので、実際の商品と異なることがあります。



電波を受信しやすい窓際などで操作しましょう



- アラームスイッチをOFFにする
- 電池ふたを開ける
- 電池を入れる
電池ホルダーの⊕⊖表示に合わせて電池を入れます。電池を逆向きに入ると電池の発熱、破裂、液もれの原因になります。
◆電池を入れたとき「ピー」と鳴ります。電池の入れ替えを繰り返したときは、鳴らないことがあります。
- リセットボタンを押す
ボールペンの先などでリセットボタンを押し、電波の受信を開始します。
※誤作動防止のため、電池を入れた後は必ずリセットボタンを押してください。
- 電池ふたを閉じる
- 21分後に受信結果を確認する
受信中はボタン操作をしないでください。受信マークが点灯していれば受信に成功しています。結果の見方は、「受信の流れと表示」をご覧ください。

電池を交換するときは

電池を入れ替えたときもリセットボタンを押し、窓際などで電波の受信をさせてください。

アドバイス

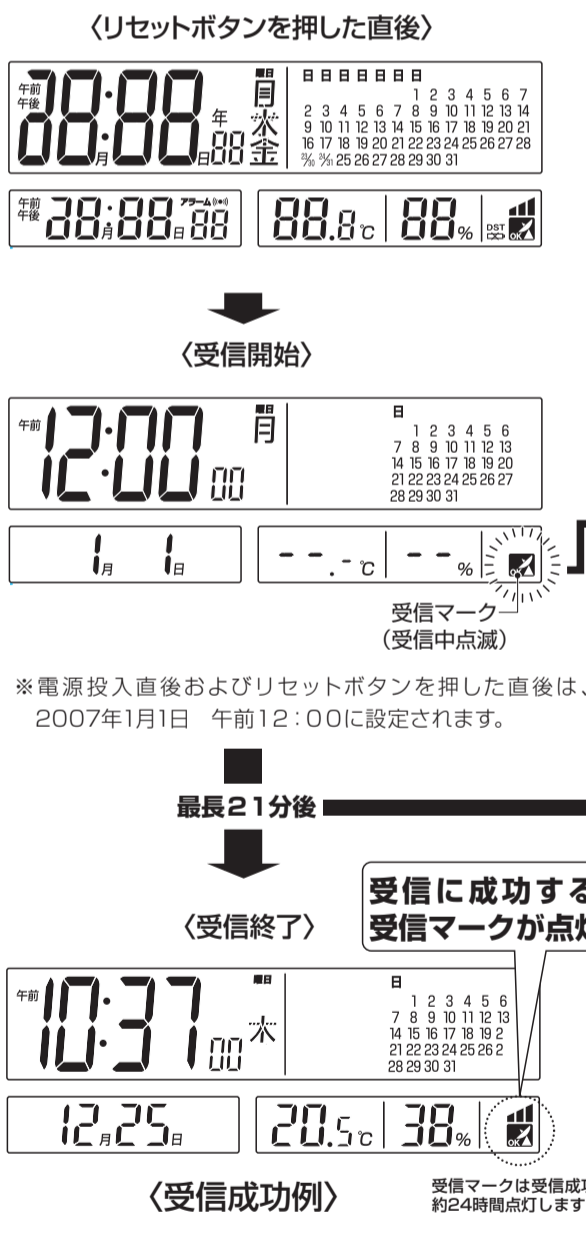
テレビ、蛍光灯などの家電製品やパソコンなどのOA機器からのノイズにより、電波を受信できない場合や誤った時刻を表示することがあります。場所を変えてからリセットボタンを押し、再度受信を試みてください。

受信マークの変化
電波の状態により①～④へ点滅で変化します。(電波サーチ機能)



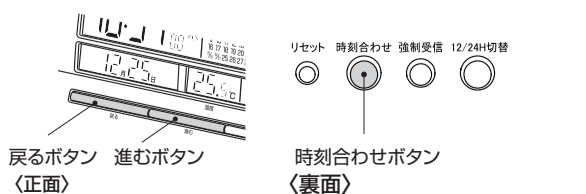
チェック!
1～2分経過しても①または②の受信状態が続く場合は受信できません。場所を変えてリセットボタンを押し、再度受信を開始させてください。

【受信の流れと表示】



❖ 電波を受信できない場合

- 朝までそのまましておく
一般的に、夜間は電波状態が良くなるので、手動で時刻合わせをして一晩そのままにしておくと受信できる可能性が高くなります。
- 場所を変える / 受信をやり直す
電波の受信しやすい窓ぎわや、電波の送信所(取扱説明書の日本地図を参考)に、なるべく時計の正面または裏面が向くように置き直します。リセットボタンを押してください。
- 受信できない場合は、下記操作でご使用になれます。
- 手動での時刻の合わせ方
右の操作例に従って設定してください。操作例は2008年12月25日 午前10時36分に合わせています。
※電波受信機能がONの場合、受信に成功すると自動的に時刻を修正します。→「7. 電波受信のON/OFF設定」参照。
※約30秒間ボタン操作をしないと、表示されている時刻に設定して、手動時刻合わせを完了します。
※電波を受信しない場合は、平均月差±30秒になります。



- 時刻合わせボタンを西暦年が点滅するまで約2秒間押しつづけます。
- 進む/戻るボタンで「年」を合わせます。時刻合わせボタンを押して確定します。
- 進む/戻るボタンで「月」を合わせます。時刻合わせボタンを押して確定します。
- 進む/戻るボタンで「日」を合わせます。時刻合わせボタンを押して確定します。
- 進む/戻るボタンで「時」を合わせます。時刻合わせボタンを押して確定します。
※12時間制の場合、午前/午後の表示に注意してください。
- 進む/戻るボタンで「分」を合わせます。このとき進む/戻るボタンを押すたびに秒は「00」秒に設定されます。時刻合わせボタンを押して確定します。

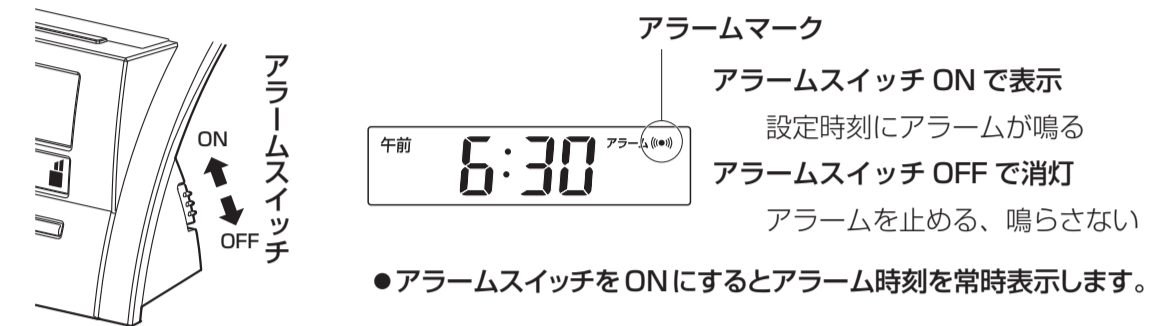
○進むまたは戻るボタンは押し続けると早く数値が変わります。
○アラームが鳴っているときやスヌーズ状態のときは、時刻合わせの操作ができません。

2. アラーム機能の使い方

アラーム時刻の合わせ方

- アラーム時刻が点滅表示。
点滅している間に、②へ進んでください。
 - 12時間制の表示を選択しているときは午前/午後の表示に注意して時刻を合わせます。
 - 進むまたは戻るボタンを押す
アラーム時刻が点滅します。
 - 時刻を合わせる
戻るまたは進むボタンを押してすぐに離すと、1分進んだり戻ったりします。押しつづけると速く変わります。
 - おおよそ5秒間ボタン操作をしない
アラーム時刻合わせを自動的に終了します。
- ◆電波受信中に戻るまたは進むボタンを押すと受信を中止し5秒間アラーム時刻を表示します。

アラームのON/OFF設定



アラーム音の確認方法

アラームスイッチをONにして、アラーム時刻を現在時刻より1～2分先に合わせてください。時間になるとアラームが鳴り出します。

アラームオートストップ機能

アラームは約2分間鳴りつづけた後、自動的に終了します。アラームを使用しないときにはアラームスイッチをOFFにしてください。

スヌーズ機能

アラームが鳴っているときに、スヌーズボタンを押すと、アラームマーク(●●)が点滅し、アラームが約5分間停止後、また鳴りだします。この操作は7回まで繰り返すことができます。8回目にスヌーズボタンを押すとアラームは停止し、アラームマーク(●●)は点灯表示になります。このときアラームスイッチはONのままです。翌日のアラーム時刻になるとアラームが鳴ります。停止させるためにはアラームスイッチをOFFにします。

3. 温度・湿度表示

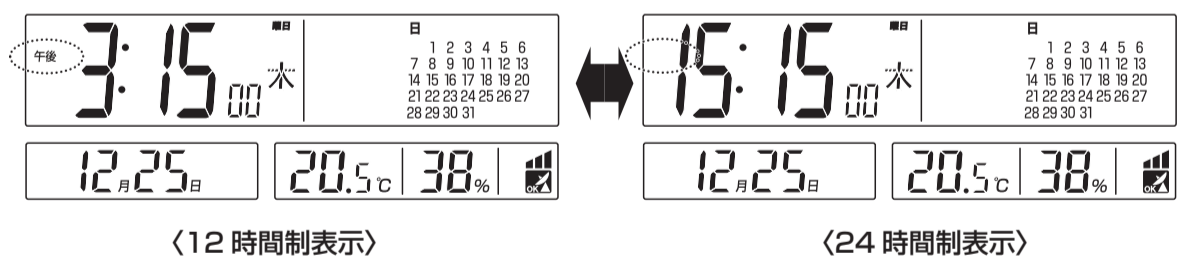
センサーが時計内部にあるため、表示に反映するまでには時間がかかります。湿度は温度範囲が5～50℃のときに±10%の誤差範囲で表示します。
測定範囲を超えたときの温度表示
HH.H 50℃より高温
LLL -9.9℃より低温
測定範囲を超えたときの湿度表示
HH 95%より高い
LL 20%より低い

Ⓢ本製品は室内用ですので、室内の温度・湿度の計測以外の目的では使用できません。また厳密な温湿度管理を行う用途には適していません。

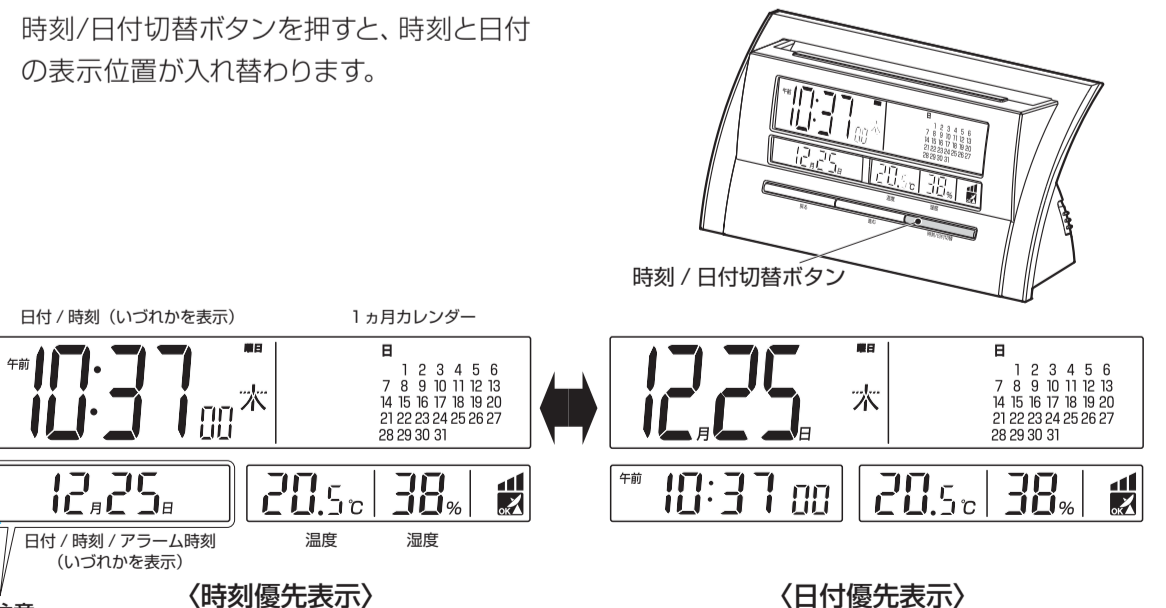
4. 表示の切替

12/24時間制表示の切替

12/24H切替ボタンを押すと、午前/午後表示付きの12時間制表示と00:00:00～23:59:59で表示する24時間制を切り替えることが出来ます。



時刻、日付表示位置の切替



ワンポイント つぎのようなときは表示の切替操作はできません。

12/24時間制切替および時刻/日付表示切替操作は、電波の受信中、手動での時刻合わせ、アラーム時刻の設定中、アラームが鳴っているとき、スヌーズ状態のときは操作できません。